



ドイツと中国の環境ビジネスの違い

熊本県立
水俣高等学校
2年生3名



『環境首都水俣』に学ぶ水高生から世界への「いのち」の発信

1. 仮説

環境先進国であるドイツとその反対の中国では問題になっている環境問題が違っているのではないだろうか。そして、ドイツでは環境問題に対してしっかりとした政策が行われているのではないだろうか。

ドイツの環境ビジネス

- 街の緑化
 - ・中庭・壁面・屋上の緑化
- ゴミのリサイクル
 - ・コンポスト
- 自然エネルギー
 - ・ゴミ処分場に風車
- エコショップとビオ農業
- デボジット制

2. 問題点

- ・中国→大気汚染
- ・ドイツ→ゴミ問題

都市ゴミ総発生量ランキング

1位 アメリカ	6位 フランス
2位 ロシア	7位 イタリア
3位 ドイツ	8位 イギリス
4位 日本	9位 トルコ
5位 メキシコ	10位 スペイン

5. 参考文献

- ・日経ビジネス「青い空が続く中国で次に求められる環境ビジネス」
- ・22世紀を生きる君へ【2019】世界の二酸化炭素排出量が多い国ランキング
- ・世界ランキング国際統計格付センター
- ・緑とトラムのカールスルーエから環境先進国ドイツの今著者：松田雅央

中国の環境ビジネス

- 春節期間における花火・爆竹の使用が2017年末「北京市花火・爆竹安全管理規定」により北京市第五環状線以内で禁止
- 大気汚染が特に深刻な北京市、天津市、河北省は建設現場や工場などの操業停止、一部制限
- 石炭→天然ガス
- 環境汚染対策投資額の上昇

3. 改善案

- ・ドイツはごみは発生しているがそのゴミを利用して様々な取り組みをしている
- ・中国にあるたくさんの工場を世界各地に分散させる
- ・中国で電気自動車を普及させる
- ・中国の人たちに関心を持ってもらうために常に大気汚染濃度を計測できるものを設置する

4. 結論

環境先進国であるドイツとその反対の中国ではそれぞれ大きな環境問題があり、ドイツではその環境問題を良い方向に利用している。

